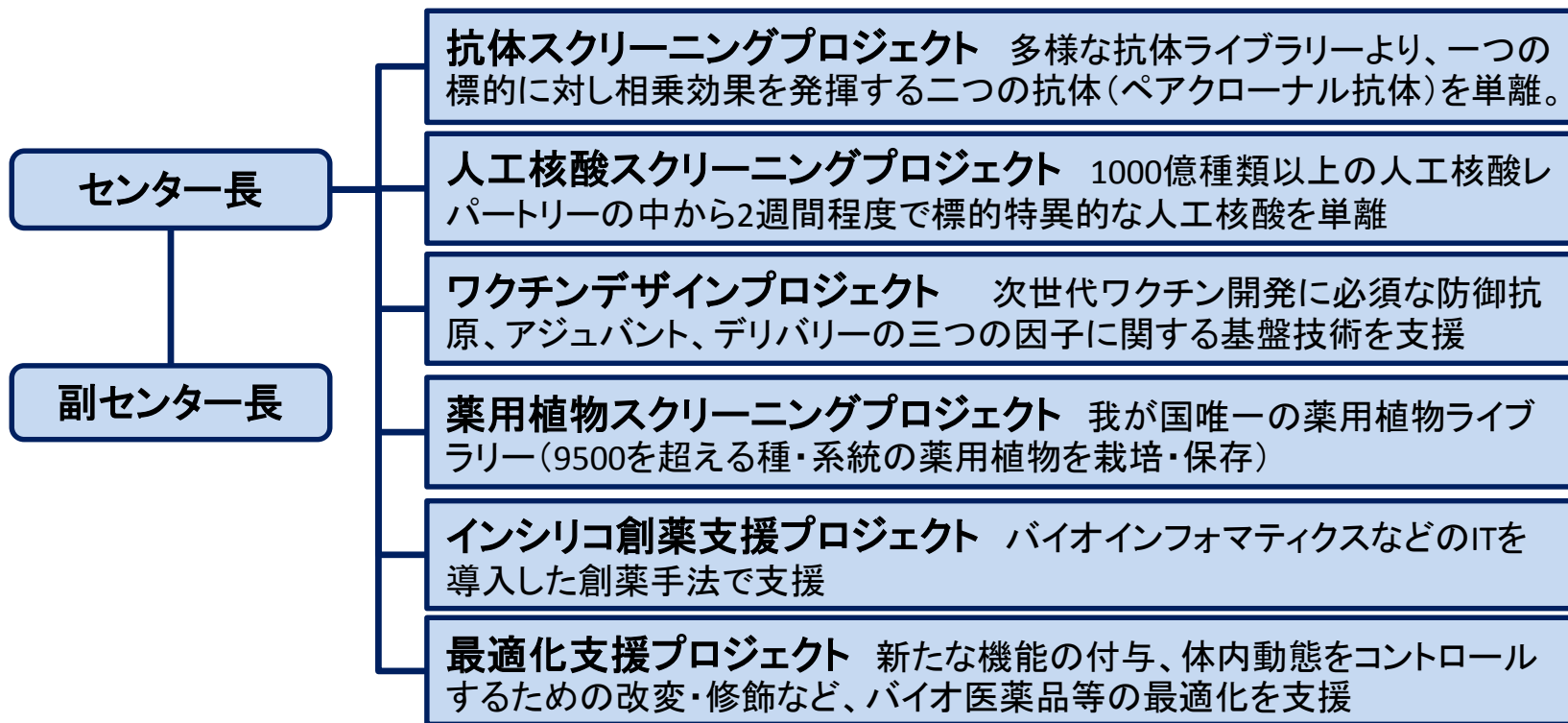


医薬基盤・健康・栄養研究所における 活動状況及び活動計画

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
平成28年3月11日

1 支援体制

AMED設立と同日(平成27年4月1日)に設置した創薬デザイン研究センターを中心に、自ら研究部門を含めて所全体で、創薬支援ネットワークと連携しつつ技術支援を実施。



2 取組み状況

- 今年度は創薬支援ネットワークによる技術支援として、抗体スクリーニング1件、人工核酸スクリーニング3件(今年度からの新規課題1件を含む)、生物資源(細胞)の提供3件の計7件(6課題)を実施。

－ 創薬支援ネットワークのテーマのうち医薬基盤・健康・栄養研究所による支援テーマ －

採択年度	課題名	代表研究者/所属	支援方法	ステージ
平成25年度	神経再生促進作用を持つ脊髄損傷治療薬の探索	武内 恒成 愛知医科大学	人工核酸スクリーニング	標的実用化検証
			生物資源(細胞)の提供	標的実用化検証
平成26年度	新規がん治療薬のためのコンパニオン診断薬の探索	目加田 英輔 大阪大学	抗体スクリーニング	スクリーニング
平成26年度	HCMVワクチンの探索	白木 公康 富山大学	生物資源(細胞)の提供	標的実用化検証
平成25年度	がん細胞の酸化ストレス防御機構を標的とする新規抗がん剤の探索	中別府 雄作 九州大学	生物資源(細胞)の提供	スクリーニング
平成26年度	緑内障を対象とした神経保護薬の探索	林 秀樹 東京薬科大学	抗体スクリーニング ・最適化	スクリーニング
平成26年度	小細胞肺癌治療を目的とした核酸医薬の探索	下條 正仁 大阪医科大学	人工核酸スクリーニング ・最適化	スクリーニング
平成27年度	低分子量Gタンパク質を標的とする新規がん治療のための核酸医薬の探索	菊池 章 大阪大学	人工核酸スクリーニング	スクリーニング

 : 医薬健栄研 新規支援テーマ

 : 医薬健栄研 支援終了テーマ

1 平成28年度予算案に関しては、インハウス予算として5.1億円が盛り込まれている。

2 支援の継続

- 創薬デザイン研究センターによる支援を継続する(平成28年度予算1.2億円)。
⇒医薬品リード抗体/人工核酸・バリデーショ用抗体/人工核酸・機能解析用抗体/人工核酸等のスクリーニング及び最適化のデザインを継続する。
⇒医薬品候補分子の評価系等の構築に対する技術支援を継続する。
- 既に構築した独自の抗体/人工核酸ライブラリー群の品質解析・評価に加え、多様な特性を有した抗体/人工核酸取得基盤の構築を図る。
- 必要に応じ、細胞の提供等の支援を継続する。

3 創薬支援インフォマティクスシステムの構築

- 平成27年度より5年間(平成27～31年度)で、AMEDの創薬支援推進事業として心・肝毒性及び薬物動態予測システムの構築を行う。
⇒創薬支援ネットワークにおける開発期間の短縮及び革新的医薬品創出の成功確率向上に寄与することが期待される。

4 その他

- 抗体/人工核酸のスクリーニング及び最適化以外にもインシリコ創薬、ワクチンデザイン、生物資源の使用/提供等について、様々な技術的相談に対応するなど、医薬基盤・健康・栄養研究所全体で創薬支援ネットワークを強力にバックアップしていく。
- 薬用植物スクリーニングのための植物エキ斯拉イブラリーの拡充を図る。